日本BS放送株式会社

2020年８月期 第２四半期決算概況

通期業績見込及び経営計画について

2020年　5月　8日

東証一部　コード：9414

Copyright © Nippon BS Broadcasting Corporation. All rights reserved.

Ⅰ　事業環境

Copyright © Nippon BS Broadcasting Corporation.　All rights reserved.

BS放送のメディアパワー

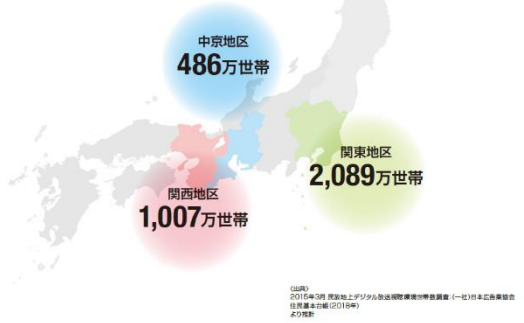
【BS放送視聴可能世帯数は約4,512.4万世帯（世帯普及率77.1%）】

BSデジタル民放6社は、2019年6月・12月に全国のテレビを所有する普通世帯3,000世帯に対して調査を実施。
この結果、視聴可能世帯数は約4,512.4万世帯になり、全国でBSデジタル放送を視聴出来る世帯の割合は77.1%となった。

■BSデジタル放送視聴可能世帯数

2019年6月/12月平均値
RDD（ランダム・ディジット・ダイアリング）法による
電話調査・ビデオリサーチ

■地上デジタル放送のエリア別
視聴可能世帯数



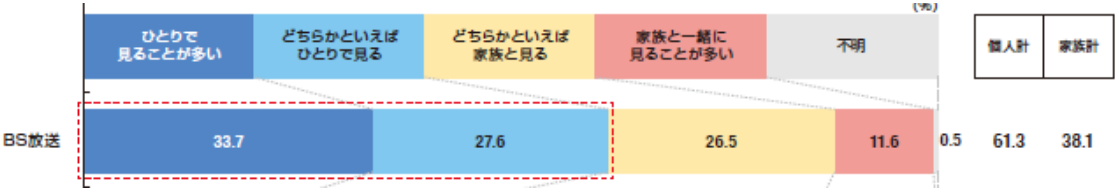
（出典）
2018年3月 民放地上デジタル放送視聴環境世帯数調査（一社）日本広告業協会
住民基本台帳（2018年）
より推計

■BS放送をよく見る層の満足度

n=913（民放BSよく見る層）

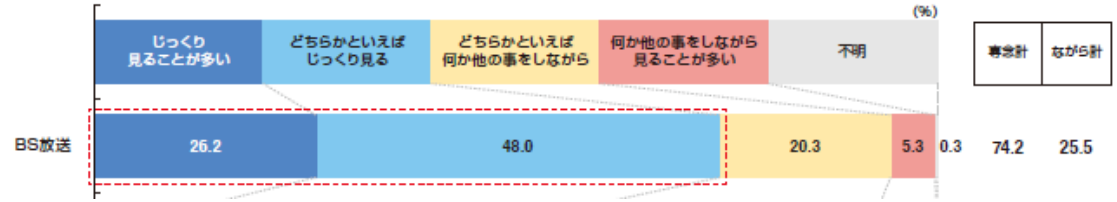
■個人視聴／家族視聴

n=913（民放BSよく見る層）



■専念視聴／ながら視聴

n=913（民放BSよく見る層）



（出所）「BSデジタル放送メディアパワーガイド2019」

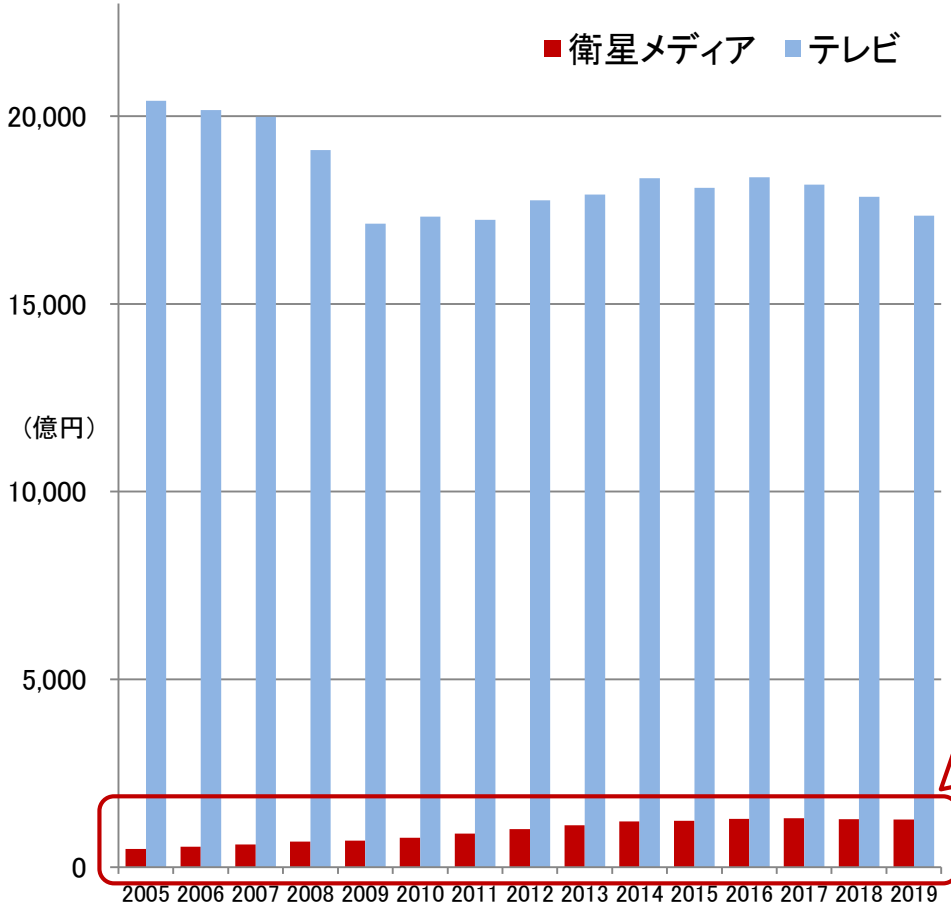
Copyright © Nippon BS Broadcasting Corporation. All rights reserved.

広告費の推移

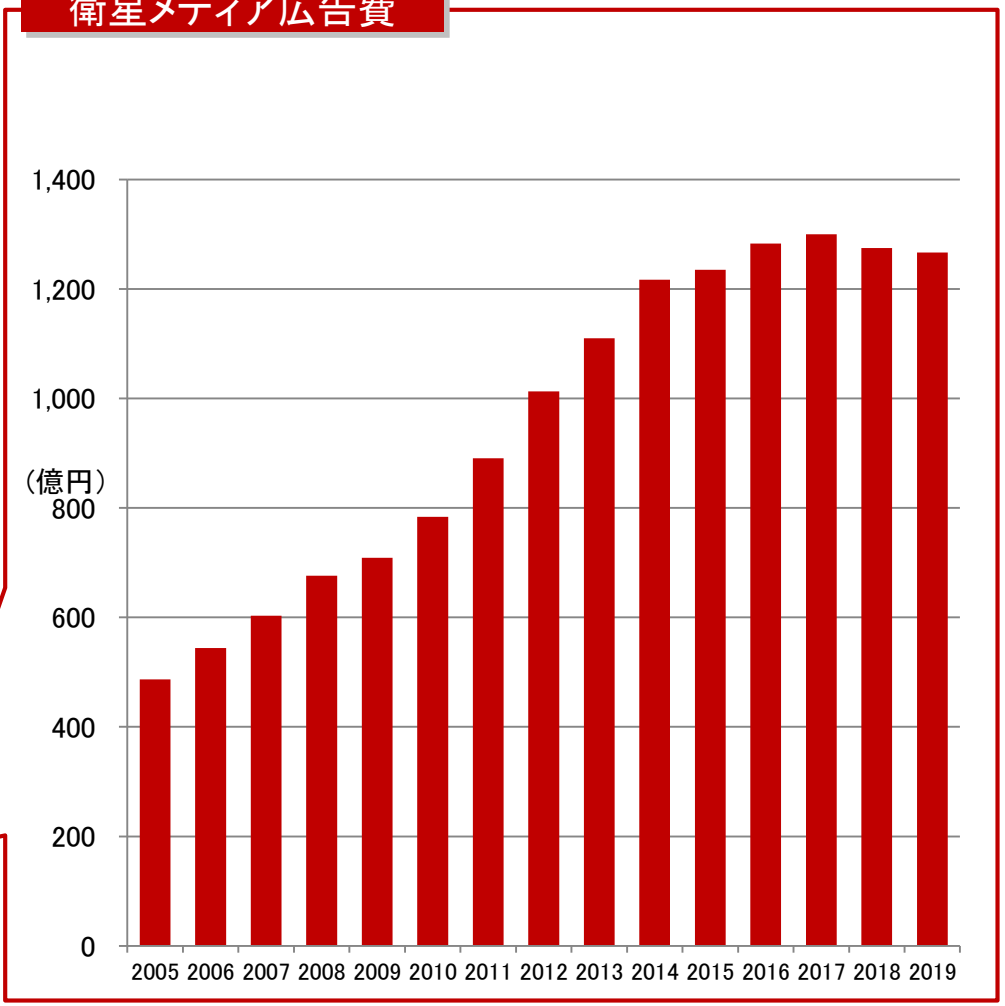
BS11日本BS放送

【地上波およびBS市場の成長は一旦鈍化傾向、ほぼ横ばいで推移】

媒体別広告費



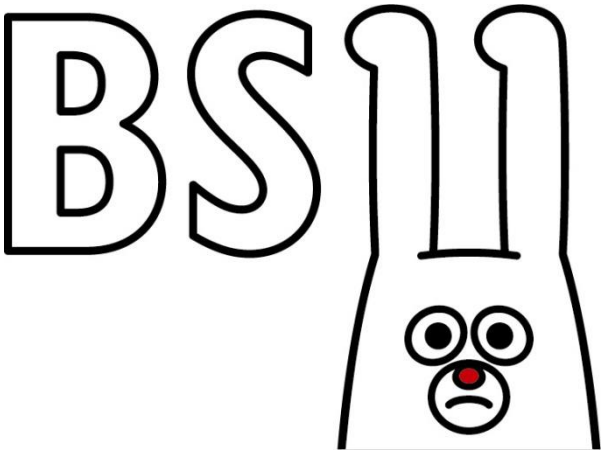
衛星メディア広告費



(出所)電通「2019年　日本の広告費」 ※ 衛星メディアにはBS放送、CS放送、ケーブルテレビが含まれる

Copyright © Nippon BS Broadcasting Corporation.　All rights reserved.

Ⅱ　第2四半期決算概況



Copyright © Nippon BS Broadcasting Corporation.　All rights reserved.

損益計算書の概要（連結）

BS11 日本BS放送

売上高は5,690百万円（前期比6.3%減）、営業利益は1,012百万円（前期比6.1%増）、親会社株主に帰属する当期純利益は691百万円（前期比6.8%増）

（単位：百万円、下段は構成比）

	2019年8月期 第2四半期累計	2020年8月期 第2四半期累計						
		実績	前年同期比	増減額	計画	計画比	増減額	主な変動要因（前年比）
売上高	6,076 (100.0%)	5,690 (100.0%)	▲6.3%	▲386	6,200 (100.0%)	▲10.0%	▲510	【売上高】 ・放送事業収入：▲348百万円 ・その他収入：▲6百万円 ・その他収入（出版）：▲31百万円
売上総利益	2,897 (47.7%)	2,847 (50.0%)	▲1.7%	▲50	― (―)	―	―	
営業利益	953 (15.7%)	1,012 (17.7%)	+6.1%	+59	980 (15.8%)	+3.2%	+32	【営業利益】 ・放送事業：+65百万円 ・出版事業：▲7百万円
経常利益	954 (15.7%)	1,017 (17.8%)	+6.6%	+63	980 (15.8%)	+3.9%	+37	
親会社株主に帰属する四半期純利益	646 (10.6%)	690 (12.1%)	+6.8%	+44	670 (10.8%)	+3.1%	+20	

Copyright © Nippon BS Broadcasting Corporation. All rights reserved.

損益計算書の概要（個別）

BS11日本BS放送

売上高は5,397百万円（前期比6.2%減）、営業利益は993百万円（前期比7.0%増）、
四半期純利益は681百万円（前期比7.6%増）

（単位：百万円、下段は構成比）

	2019年8月期 第2四半期累計	2020年8月期 第2四半期累計						
		実績	前年同期比	増減額	計画	計画比	増減額	主な変動要因（計画比）
売上高	5,752 (100.0%)	5,397 (100.0%)	▲6.2%	▲355	5,900 (100.0%)	▲8.5%	▲503	（売上高） ・タイム収入：　▲256百万円 ・スポット収入：▲224百万円 ・その他収入：　▲24百万円
売上総利益	2,726 (47.4%)	2,684 (49.7%)	▲1.5%	▲42	―	―	―	（段階利益） ・売上高未達ながらも費用の効率的運用により増益 ≪利益増加の具体的要因≫ 売上原価： ・良質な番組制作と人気番組の購入のバランスミックスによる費用減 販売管理費： ・広告宣伝の効率的な実施により広告関連費用の減少
営業利益	927 (16.1%)	992 (18.4%)	+7.0%	+65	980 (14.8%)	+1.3%	+13	
経常利益	930 (16.2%)	999 (18.5%)	+7.4%	+69	980 (14.8%)	+1.9%	+19	
四半期純利益	633 (11.0%)	681 (12.6%)	+7.6%	+48	670 (10.4%)	+1.6%	+11	

Copyright © Nippon BS Broadcasting Corporation.　All rights reserved.

売上区分別実績（個別）

BS11日本BS放送

（単位：百万円、下段は構成比）

	2019年8月期 第2四半期累計	2020年8月期 第2四半期累計			
		実績	前年同期比	計画	計画比
売上高	5,752 (100.0%)	5,397 (100.0%)	▲6.2%	5,900 (100.0%)	▲8.5%
タイム収入	4,253 (73.9%)	4,014 (74.4%)	▲5.6%	4,270 (72.4%)	▲5.9%
スポット収入	1,315 (22.9%)	1,206 (22.3%)	▲8.1%	1,430 (24.2%)	▲15.6%
その他	183 (3.2%)	176 (3.3%)	▲3.7%	200 (3.4%)	▲12.0%

主な増減要因（前年対比）

■ **タイム収入**

・前期より継続してテレビ通販の縮小や広告媒体多様化による業界環境変化の影響を受けたことにより減収、一方で番組提供クライアントの販売単価は堅調に推移したことにより前期比微減で着地

■ **スポット収入**

・主にテレビ通販業界の環境変化による減収に対し、効果的な広告宣伝の実施により媒体価値の向上を図り、新規クライアントの獲得に注力

■ **その他**

・配当金収入、番組販売に伴う収入は堅調に増加するも、払込時期のずれにより若干の未達

Copyright © Nippon BS Broadcasting Corporation. All rights reserved.

主要費用項目実績（個別）

BS11日本BS放送

（単位：百万円、下段は売上比）

	2019年8月期 第2四半期累計	2020年8月期　第2四半期累計		
		実績	前年同期比	主要な増減要因
番組関連費用（原価）	2,095 (36.4%)	1,809 (33.5%)	▲13.6%	
番組購入費	384 (6.7%)	286 (5.3%)	▲25.5%	番組改編に伴う番組放送枠の見直し
番組制作費	1,711 (29.7%)	1,523 (28.2%)	▲10.9%	新規制作番組とアーカイブのミックスによるクオリティとコストの両立が奏功
放送関連費用（原価）	311 (5.4%)	312 (5.8%)	－	
放送委託費	277 (4.8%)	277 (5.1%)	－	
技術費	33 (0.6%)	34 (0.6%)	+3.0%	
広告関連費用（販管費）	505 (8.8%)	484 (9.0%)	▲4.1%	
広告宣伝費	466 (8.1%)	445 (8.2%)	▲4.5%	局認知向上施策として新聞（全国・地方）やWEB等の広告宣伝を効率的に実施
販売促進費	39 (0.7%)	39 (0.7%)	－	

Copyright © Nippon BS Broadcasting Corporation.　All rights reserved.

貸借対照表の概要（個別）

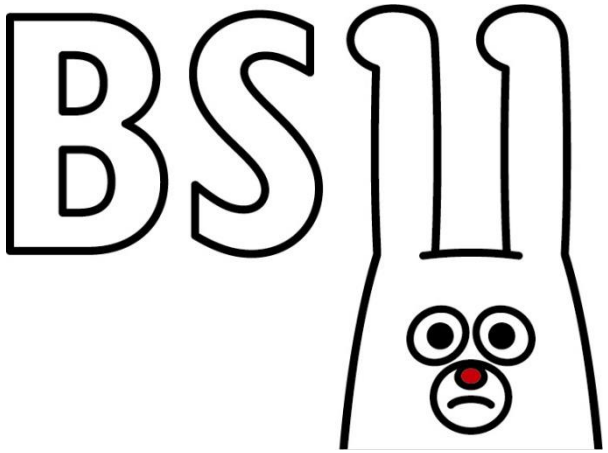
BS11日本BS放送

（単位：百万円、下段は構成比）

		2019年8月期末	2020年8月期第2四半期末		
			第2四半期	前年増減額	主な増減要因
	流動資産	12,161 (63.2%)	12,164 (62.2%)	+3	・現金及び預金の増加　＋279百万円 ・売掛金の減少　▲315百万円
	固定資産	7,060 (36.7%)	7,364 (37.7%)	+304	・放送設備の改修　+261百万円
資産合計		19,222 (100.0%)	19,529 (100.0%)	+307	
	流動負債	1,516 (7.8%)	1,496 (7.7%)	▲20	・未払金の減少　▲247百万円 ・未払法人税等の増加　+146百万円
	固定負債	94 (0.4%)	95 (0.5%)	+1	
負債合計		1,610 (8.3%)	1591 (8.1%)	▲19	
純資産合計		17,611 (91.6%)	17,937 (91.8%)	+326	・利益剰余金の増加　+325百万円
負債・純資産合計		19,222 (100.0%)	19,529 (100.0%)	+307	

Copyright © Nippon BS Broadcasting Corporation.　All rights reserved.

Ⅲ　通期業績予想について



Copyright © Nippon BS Broadcasting Corporation.　All rights reserved.

2020年8月期　通期連結業績予想の修正（2020年4月8日付開示）

BS11 日本BS放送

売上高は11,400百万円（前期比9.5%減）、営業利益は1,510百万円（前期比10.8%減）、
親会社株主に帰属する当期純利益は1,020百万円を計画（前期比11.9%減）

	売上高（百万円）	営業利益（百万円）	経常利益（百万円）	親会社株主に帰属する当期純利益（百万円）	1株あたり当期純利益（円　銭）
前回発表（2019年10月4日付）	13,000	2,010	2,010	1,380	77.51
今回修正予想	11,400	1,510	1,510	1,020	57.29
増減額（B-A）	▲1,600	▲500	▲500	▲360	
増減率（%）	▲12.3	▲24.8	▲24.8	▲26.0	
（ご参考）前期実績（2019年8月期）	12,601	1,693	1,698	1,158	65.08

Copyright © Nippon BS Broadcasting Corporation. All rights reserved.

通期連結業績予想修正の理由

BS11日本BS放送

・売上高は事業環境要因及び新型コロナウイルスの影響により減少見込

・利益は原価及び販管費の抑制により売上高減少の影響を低減させる計画

事業環境（継続要因）

・テレビ通販業界の縮小傾向が前期より継続

・ネットを中心とした広告媒体の多様化による広告需要の伸び悩み

新型コロナウイルスの影響

【売上高への影響見込】

・自社制作番組のうち社外ロケを中心とした番組において、新作制作体制の確保が難航

・オリンピック、パラリンピックをはじめとした国内イベントの中止・延期に伴う広告需要の伸び悩み

・自社出展・開催予定イベントの中止に伴う収入減少見込み

【利益の影響見込】

・新作制作からアーカイブ活用、購入番組へのシフトに伴い原価の抑制効果

・イベント出展費用の削減等、広告宣伝の効率的な実施により販管費の抑制効果

Copyright © Nippon BS Broadcasting Corporation. All rights reserved.

BS11 日本BS放送

2020年8月期は、期末配当金 20.0円を計画（変更なし）

配当政策の基本方針

- 当社は、BSデジタル放送事業者という高い公共性に鑑み 永続的且つ健全な経営の維持に努めるとともに、財務体質の強化と内部留保の充実を考慮しつつ、将来の事業展開等を総合的に勘案した上で、長期にわたり安定した利益配当を継続的に実施する方針です。
- 年1回の期末配当を行うことを基本とします。

年間配当金

	2015年8月期	2016年8月期	2017年8月期	2018年8月期	2019年8月期	2020年8月期（予想）
年間配当	15.0 円	17.0 円	18.0 円	19.0 円	20.0円	**20.0円**
普通配当	13.5 円	17.0 円	18.0 円	19.0 円	20.0円	**20.0円**
記念配当	1.5 円	0 円	0 円	0 円	0円	**0円**
1株当たり当期純利益	68.34 円	82.04 円	85.27 円	93.19 円	65.08円	**57.29円**

※1株当たり当期純利益の数値は、2017年8月期以前は個別、2018年8月期以降は連結で表示しております。

Copyright © Nippon BS Broadcasting Corporation. All rights reserved.

株主優待制度（変更なし）

BS11日本BS放送

株主優待制度の概要

・8月末日、2月末日を基準日として、年2回の株主優待を実施

・ビックカメラグループ全店で利用可能な「ビックカメラ商品券」1,000円券1枚を贈呈

・各基準日現在の当社株主名簿に記載または記録された当社株式1単元（100株）以上保有されている株主様が対象

長期保有株主優待制度の概要

・以下の2要件の両方に該当する株主様に対し、「ビックカメラ商品券」（1,000円券）を追加贈呈

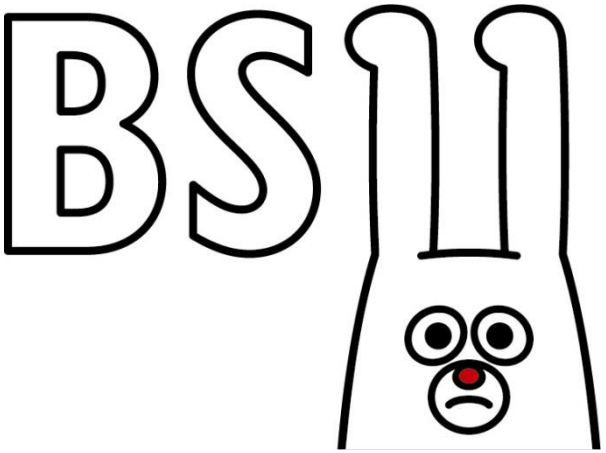
①基準日（毎年8月末日、2月末日）の当社株主名簿に連続3回以上同一株主番号で記載または記録されたこと

②当社株式1単元（100株）以上を継続して保有されていること

基準日		2月末日		8月末日	
贈呈時期		5月		11月	
贈呈内容	株主優待制度		ビックカメラ商品券1,000円券1枚		ビックカメラ商品券1,000円券1枚
	長期保有株主優待制度				ビックカメラ商品券1,000円券1枚

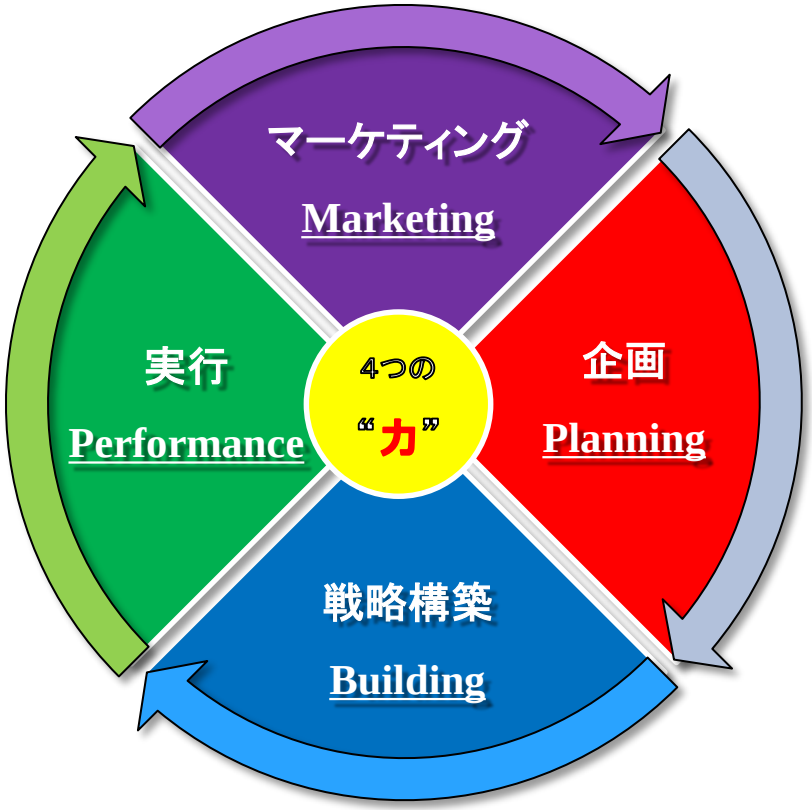
Copyright © Nippon BS Broadcasting Corporation. All rights reserved.

Ⅳ　重点経営施策



Copyright © Nippon BS Broadcasting Corporation.　All rights reserved.

基本戦略『４つの力』と重点施策『Value7』



マーケティング“力” Marketing	データベースを用いて潜在的な需要を喚起
企画“力” Planning	視聴者やクライアントのニーズを捉え、 的確な企画立案
戦略構築“力” Building	環境変化に応じて機動的かつ効果的な 戦略を構築
実行“力” Performance	知恵と知識を絞りチーム一丸となって 戦略を強力に実行

重点施策“Value 7”

- Ⅰ. 独立TV局の強みを最大限に活用
- Ⅱ. 自社制作番組の充実
- Ⅲ. 情報番組の選択と拡大
- Ⅳ. アニメ関連事業の強化と発展
- Ⅴ. 他企業・ローカル局コラボの促進
- Ⅵ. スポーツコンテンツの充実
- Ⅶ. 放送周辺事業の新規開発と増強

Copyright © Nippon BS Broadcasting Corporation. All rights reserved.

自社制作番組と人気番組購入のバランスミックスによるラインナップの充実

2019年10月より、学生スポーツのドキュメンタリー番組「キラボシ」を放送開始。

「ディスカバリー傑作選」の放送枠を拡大し更に充実したラインナップへ改編

紀行・教養・ドキュメンタリー

毎週日曜
よる6時30分～

毎週土・日曜
よる8時～、9時～計4枠放送

情報・エンタメ・音楽

毎週土曜
あさ8時30分～

毎週木曜
よる8時00分～

報道・経済

毎週月～金曜
よる8時59分～

毎月最終金曜
よる8時59分～

アニメ

毎週金曜
よる10時00分～

毎週金曜
よる10時30分～

Copyright © Nippon BS Broadcasting Corporation. All rights reserved.

コラボレーション番組を含むコンテンツの多様化

BS11日本BS放送

様々なジャンルの自社制作番組

多種多彩な特別番組

日本各地の放送局とコラボレーション

Copyright © Nippon BS Broadcasting Corporation. All rights reserved.

アーカイブ等自社制作番組の販売・活用

BS11日本BS放送

自社制作番組の販売実績（例）

Copyright © Nippon BS Broadcasting Corporation. All rights reserved.

アニメ関連番組の継続と拡充

アニメ声優、アニソン歌手出演番組の強化

◆文化放送にて「Anison Days+」を放送。

◆「AnisonDaysFestival2019」を2019年9月20日に新宿文化センターにて開催。影山ヒロノブ、オーイシマサヨシなど総勢10名の豪華ゲストが登場。番組では、全4回に渡って放送。

◆2015年10月よりスタートした「アニゲー☆イレブン！」4月より3代目新MCに声優・和氣 あず未 を迎え、「癒し」を番組テーマにリニューアル。

(C)BS11／ひかりTV

◆1月～3月放送。NTTぷららとの共同制作番組。声優がドラマに挑戦する紀行バラエティー番組。声優自ら企画会議にも参加し、行きたい場所や、演じてみたい役柄などアイディアを出し合いドラマを作り上げる。

新ジャンル　“アイドル番組”　4月より放送開始

「虹のコンキスタドールが本気出しました!?ー未来の逸材、ここにいます！ー」
毎週金曜 よる10時00分～

◆4月よりキングレコードとの共同制作番組「虹のコンキスタドールが本気出しました!?ー未来の逸材、ここにいます！ー」を放送開始。人気急上昇中のアイドルグループ“ 虹のコンキスタドール”が様々な企画に本気でチャレンジする育成系バラエティー番組。MCはパンサーが務める。

Copyright © Nippon BS Broadcasting Corporation.　All rights reserved.

アニメ番組の拡充

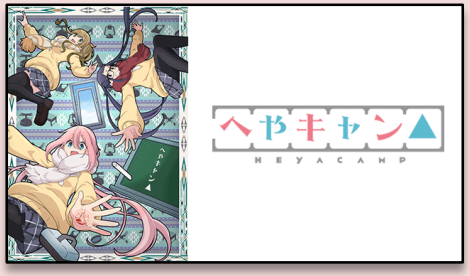
子供向けアニメ枠「キッズアニメ∞」の新設

4月より、子供、親、祖父母と3世代でご覧頂けるキッズ向けアニメ枠「キッズアニメ∞」を新設し、新規視聴層の獲得を目指す。

第1弾として2020年4月より毎週金曜19時に「ミュラキュラス レディバグ＆シャノワール」をBS初放送。19時30分からは、世界各国で大人気の冒険ファンタジー「アドベンチャータイム」を放送開始。

アニメ製作委員会出資作品

《製作委員会への出資作品（2019年10月～2020年3月）》



©あらら・芳文社／野外活動委員会

©海道左近・ホビージャパン／インフィニット・デンドログラム製作委員会

©ANIME 22/7

©辻村七子／集英社・宝石商リチャード氏の謎鑑定製作委員会

©2020 林田球・小学館／ドロヘドロ製作委員会

©IDDU/ID:INVADED Society

©2019 井中だちま・飯田ぼち。／株式会社KADOKAWA／お母さんは好きですか？製作委員会

©カラスマタスク／集英社・NGL PROJECT

Copyright © Nippon BS Broadcasting Corporation. All rights reserved.

BS11日本BS放送

ビックカメラグループによるオムニチャネル展開

ビックカメラの生放送通販番組「ビックカメラLIVE」を11月、12月、2月に放送。実店舗で特別販売している商品を売上施策の1つとして、生通販番組内でご紹介、販売。

ビックカメラ
コジマ

BS11CM内でも通販CMを放送

オムニチャネル展開

BS11 生放送通販番組
ビックカメラ LIVE

- 店舗
- 新聞・web広告
- ECサイト
- ライブコマース

CM制作の受注 ⇒ 放送 ⇒ SNS拡散 ⇒ 店頭展開まで 広告効果の最大化

クライアントの希望する商品CMを制作しBS11番組内にて放送。さらに、番組・ビックカメラ公式Twitterから拡散。店舗への誘導を図った。

『アニゲー☆イレブン』およびLynn声優出演のアニメ番組で放映

番組/ビックカメラ/キャラクター制作者 ツイッターアカウントで告知

ビックカメラ GAMING ZONEで放映
⇒ビックコンタクトへ誘導

➢ グループシナジーを最大限活用した“差別化”戦略

Copyright © Nippon BS Broadcasting Corporation. All rights reserved.

主な広告展開

◆新聞広告（全国・地方紙）

朝日新聞（TV面）

読売新聞（TV面）

毎日新聞（TV面）

日経新聞（中面）

元旦別刷り

読売新聞

朝日新聞

毎日新聞

◆交通広告（首都圏主要駅）

御茶ノ水駅（丸ノ内線）

新御茶ノ水駅（千代田線）

◆WEB広告

◆アニメ（YouTube／Twitter／LINE　など）

（素材イメージ）

YouTube掲載イメージ

Twitter掲載イメージ

LINE掲載イメージ

◆アジアドラマ（GDN／YDN／SmartNews／Facebook／Instagram　など）

（原稿イメージ）

Instagram
掲載イメージ

掲載イメージ
（韓国情報サイト「Kstyle」）

◆購入番組　（例：ディスカバリー傑作選（GDN／YDN　など））

（原稿イメージ）

掲載イメージ

◆自社制作番組　（例：太田和彦 新居酒屋百選（GDN））

（原稿イメージ）

掲載イメージ

Copyright © Nippon BS Broadcasting Corporation.　All rights reserved.

- 本資料は日本BS放送株式会社(以下、当社)の業績に関する情報の提供を目的としたものであり、当社が発行する有価証券の投資勧誘を目的としたものではありません。
- 本資料には当社の業績、戦略、事業計画などに関する将来的予測を示す記述および資料が記載されております。これらの将来的予測に関する記述および資料は過去の事実ではなく、発表時点で入手可能な情報に基づき当社が判断した予測です。
- また経済動向、他社との競合状況などの潜在的リスクや不確実な要因も含まれています。
その為、実際の業績、事業展開または財務状況は今後の経済動向、業界における競争、市場の需要、その他の経済・社会・政治情勢などの様々な要因により、記述されている将来予測とは大きく異なる結果となる可能性があることをご承知おき下さい。

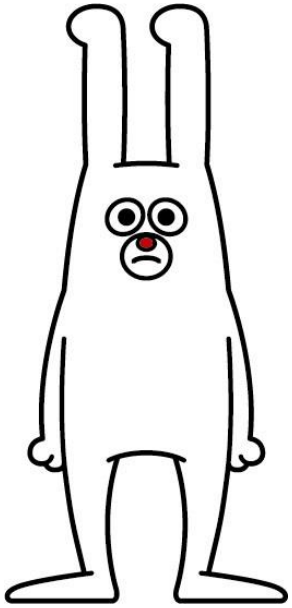
【本資料及び当社IRに関するお問い合わせ先】

日本BS放送株式会社

経営戦略局　経営戦略部

TEL　03-3518-1900

URL　http://www.bs11.jp/



Copyright © Nippon BS Broadcasting Corporation.　All rights reserved.